

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技規則について

本大会に適用する規則は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定である。  
競技規則 TR5. 2、TR5. 5、TR5. 13. 3 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、フィールド  
競技用シューズについては TR5. 5 の適用を除外する。

## 2. 練習について

(1) 練習の時間帯は下記の通り。

	本 競 技 場	補 助 競 技 場
6月16日(水)	13:00～17:00	13:00～17:00
17日(木)	7:30～8:50	7:00～18:00
18日(金)	7:30～8:50	7:00～18:10
19日(土)	7:30～8:50	7:00～18:45
20日(日)	7:30～8:50	7:00～16:35

- (2) 本競技場での練習は、トラック・跳躍種目とする。補助競技場を含め競技場備え付けの用具を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は禁止する。
- (3) 本競技場の芝生内への立ち入りは禁止する。補助競技場の芝生内ではスパイクシューズ、ラダー、ミニハードル、シートの使用を禁止する。  
また、補助競技場でのハードル練習は各種目ごとに時間帯を設定する。
- (4) 投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場の内外を問わず一切禁止する。なお、補助競技場横の指定された場所において、下記の時間帯に限りメディシンボール（ロープ付きを除く）を用いてのウォーミングアップを認める。

6/16(水) 13:00～17:00      6/17(木) 7:30～17:30      6/18(金) 7:30～17:30  
6/19(土) 7:30～17:30      6/20(日) 7:30～13:00

(5) 練習会場での練習は事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

## 3. 招集について

(1) 招集所は、メインスタンド下の室内練習場に設ける。

- ・1次招集—全種目室内練習場で行う。
- ・2次招集—トラック種目は室内練習場で行う。

フィールド種目は現地（競技場所）で行う。

- (2) 種目別の招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。
- (3) 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内、競技エリア内に持ち込まないこと。
- (4) 手順

- ① 1次招集時にアスリートビブス、競技で使用するシューズの確認を受けることで1次招集完了とする。  
なお、フィールド競技および混成競技の出場者は「フィールド競技用シューズ申告書」（プログラム巻末に綴込み）を競技者係に提出すること。
- ② a) トラック種目は2次招集開始時刻に競技者係の点呼を受け、同時に腰ナンバーを受け取り両腰のやや後方につけること。長距離・競歩種目および混成競技の最終種目は別ビブスも受け取ること。  
b) フィールド種目は2次招集開始時刻に当該種目の競技役員の点呼を受けること。
- ③ 点呼の代理人は認めない。但し、同日に2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、1次招集時に本人が競技者係へ多種目同時出場届（プログラム巻末に綴込み）を提出し、最初の種目の1次招集を完了することで、その後の種目の1次招集も兼ねることとする。なお、その場合トラック種目の2次招集を受けることができない場合は、腰ナンバーを受け取っておくこと。
- ④ 1次招集および2次招集に遅れた競技者は、出場する意志がないものとみなし処理する。

#### (5) リレー種目

- ① オーダー用紙は、各ラウンド（予選・準決勝・決勝）ともに、1組目の2次招集完了時刻の2時間前から1時間前までに競技者係（招集所）に提出すること。  
オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙を使用すること。  
オーダー用紙の提出がない場合は、出場する意思がないものとみなし処理する。
  - ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記（4）③に準ずる。
  - ③ 4×400mの第2・第3走者は、次走者の待機順を明確にするため、右側に腰ナンバーカードをつける。
  - ④ ユニフォームは、同型・同色を原則とする。
- (6) 男子5000m・3000mSC・5000m競歩と、女子3000m・5000m競歩は別ビブスを使用する。
- (7) 混成競技
- ① 1日目、2日目ともに第1種目は招集所にて指定された時刻に行う。それ以降の種目では、室内練習場の混成競技控え室で点呼を受け、役員の誘導により競技場所に移動する。  
(トラック種目は、競技開始の20分前、フィールド種目は40分前までに集合すること。)
  - ② 他種目と重なっている場合は、あらかじめ混成競技係にその旨を告げ、競技者係に多種目同時出場届けを提出しておけば、直接現地への移動を認める。また、このとき競技者はフィールド種目においては、いずれの競技種目を優先させるかを定めることができるが、トラック種目と重なる場合はトラック種目が優先となる。
- (8) 招集所から競技場所への移動は、競技者係の誘導に従うこと。
- (9) 止むなく欠場する場合は、1次招集完了時刻までに、プログラム巻末の欠場届に必要事項を記入し、競技者係に提出すること。

#### 4. 競技進行について

##### (1) 番組編成およびラウンドの通過について

- ① トラック競技の予選のレーン順、および跳躍競技の予選、投てき競技の決勝の試技順はすべてプログラム記載の順番とする。なお、準決勝以降の組み合わせはすべて番組編成員が行い、場内スクリーンに表示するとともに、兵庫県高体連陸上競技部WEBページに掲載する。
- ② トラック競技における次のラウンドへの進出者について  
(ア)  $(+\alpha)$  を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100 単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000 秒単位で優劣の判定をする。
  - ・レーンに余裕がある場合・・・同タイム (1/1000 秒単位) の競技者の進出を認める。
  - ・レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。  
(イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、 $(+\alpha)$  での進出者数を減らす。
- (ウ) レーンを使用しない種目 (800mを含む)  
同タイム (1/1000 秒単位) の競技者は全員次のラウンドに進める。

##### (2) 競技について

- ① 競技結果については場内アナウンスおよびスクリーンで発表するとともに 兵庫県高体連陸上競技部WEBページ上に掲載する。なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を正式発表とする。
- ② 当該種目出場者以外は競技エリア内に立ち入ることができない。
- ③ スパイクのピンの本数は11本以内とし、長さは9mm以内のものを使用すること。但し、走高跳・やり投については12mm以内とする。また、先端近くで少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合しなければならない。
- ④ アスリートビブスは配布された大きさのまま胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
- ⑤ 男子5000m・5000m競歩、女子3000m・5000m競歩はグループスタートで行う。
- ⑥ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン（曲走路）を走ること。

- ⑦ 4×100mのマーカ―は、主催者が準備し競技前に各コーナーで出発係が配布する。競技終了後、必ず自チームのマーカ―を前走者が取り除くこと。
- ⑧ 混成競技の走高跳は、競技者に最初の高さの希望調査を行い、その結果をもとに2組で実施する。
- ⑨ 混成競技の最終種目では、それまでの成績による順位を表す別ビブスを胸につけて競技を行う。背は競技者個人のアスリートビブス、腰はレーンナンバーとする。
- ⑩ フィールド競技において、近接の観客席に「コーチ席」を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。
- ⑪ 競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見ることや、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。
- ⑫ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。

(3) 跳躍種目の予選通過標準記録は下記のとおりとする。

	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳
男子	1m94	4m40	7m00	14m50
女子	1m64	—	5m60	—

(4) 走高跳、棒高跳のバーのあげ方は下記のとおりとする。

男子 走高跳	予選	1m85 (練) (競) 1m88-91-94
	決勝	1m91 1m88 (練) (競) 1m91-94-97 以後 3cmずつ上げる 1m94
女子 走高跳	予選	1m55 (練) (競) 1m58-61-64 1m61
	決勝	1m58 (練) (競) 1m61-64-67 以後 3cmずつ上げる 1m64
男子 棒高跳	予選	4m10 (練) (競) 4m20-30-40 4m40
	決勝	4m30 (練) (競) 4m40-50-60 以後 10cmずつ上げる 4m60 5m00
女子 棒高跳	決勝	2m90 (練) (競) 3m00-10-20 以後 10cmずつ上げる 3m40 3m80
男子 八種競技 走高跳	1組	1m33 (練) (競) 1m36-39-42 以後 3cmずつ上げる 1m57
	2組	1m57 (練) (競) 1m60-63-66 以後 3cmずつ上げる 1m75
女子 七種競技 走高跳	1組	1m11 (練) (競) 1m14-17-20 以後 3cmずつ上げる 1m32
	2組	1m35 (練) (競) 1m38-41-44 以後 3cmずつ上げる 1m56

同記録による1位決定と全国大会出場権決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

## 5. 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。競技終了後、競技場所で返却するので持ち帰ること。  
検査時刻は、競技開始時刻の80分前～60分前までとし、フィニッシュ側の用器具庫で行う。  
なお、混成競技のやりの検査は競技開始予定時刻の60分前までとする。

## 6. 抗議について

抗議は日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）から、所定の手続きをとるものとする。

## 7. 表彰について

- (1) 各種目8位までの入賞者は、成績発表後できるだけ速やかに賞状をメインスタンド1階中央ロビーの表彰係まで受け取りに来ること。
- (2) 表彰式では以下の表彰を行うので当該校（者）は必ず参加すること。
  - ① 男女別総合と男女別トラック・フィールドの部で3位までに入賞した学校
  - ② 男女の優秀競技者
  - ③ 男女各総合優勝校の監督

## 8. その他

- (1) 本競技場の開門は、4日間とも7時30分とする。
- (2) テント、シート、横断幕、のぼりについて
  - ① メインスタンド2階コンコース（2階通路）は、シートのみとし、テントの設置は禁止する。
  - ② メインスタンド2階コンコース、バックスタンド上段通路、サイドスタンド中段通路より上の座席は、事前に各府県で割り当てられた場所を使用すること。指定されている範囲を越えての場所取りは禁止する。
  - ③ 競技場外の場所取りは一切禁止する。
  - ④ 競技場内に設営しているテント、シート等は毎日撤去し、持ち帰るか小さくまとめてその場所に置いて帰ってもよい。（破損、盗難等の責任は負わない）
  - ⑤ 横断幕は各府県で割り当てられた場所に設置すること。また、大会期間中設置したままでもよい。
  - ⑥ のぼりの設置は禁止する。
- (3) 感染防止に配慮し、声を出しての応援（ラップタイムの読み上げを含む）、集団での応援は禁止する。  
また、フィールド競技中のトラック種目への一斉応援、トラック競技のスタート時における応援は慎むこと。なお、スタンド最前列及び中央通路での立ったままの応援は禁止する。
- (4) スタンド、更衣室は常に清潔保持につとめ、ゴミ等は必ず持ち帰ること。
- (5) 感染防止のため更衣室の利用は短時間（5分程度）とし、シャワーの使用は禁止する。
- (6) 補助競技場内での日傘の使用は安全確保の観点から禁止する。
- (7) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (8) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、必ずスタンド下の通路を使用すること。また、通行禁止や使用禁止の表示のある場合は、厳守すること。
- (9) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。

※フィールド競技においてはTR5.5を適用しない。よって、記録は国内でのみ通用するものとなり、WAへの申請も行わない。しかし国際競技会への参加資格となり得る記録が出た場合のために、招集段階で全フィールド競技者および混成競技者は「フィールド競技用シューズ申告書」を提出する。国際競技会への参加資格となり得る記録が出た際には、事前提出の「フィールド競技用シューズ申告書」で規定違反のある競技者の記録には「TR5.5」と付記し、WAに全競技者の記録申請を行う。